

## 新中期5ヶ年経営計画や CSR経営についての意見交換、 経営課題の認識を共有する。



関西支店での社長ミーティング

当社グループでは、これまでのCSRミーティングに代わり、昨年から社長が各支店に足を運び開催される社長ミーティングを実施しています。ミーティングの目的は、新中期経営5ヶ年計画や会社の課題などについて説明を行い、第一線の現場まで方向性を合わせるとともに、CSR経営について活発な意見交換を行うことです。

従業員一人ひとりが会社に求められている課題を理解し、毎日の業務の中で今年度の取り組みが末端まで浸透、促進できるようにしています。

今年度は、久松新社長と役員が4月24日から5月19日まで全国10支店と本社で実施、多くの所属長、役職員、グループ会社社長が参加しました。会議後半にはフリーディ



拓友道路株式会社  
社長 伊藤 大

社長ミーティングでは、日本道路本体と建設関連会社との共存についてお話をいただきました。地方部においては、建設関連会社へのシフト・拡大がポイントとなり、グループにおける建設関連会社の重要度が更に増すものと改めて認識しました。

当社も北海道内に4事業所を配置していますが、各所で、日本道路とともに人員、施工体制等について、将来を見据えたより有効な配置を考え、外部売上を伸ばすことによりグループの後押しをしていければと考えています。

スカッションも行われ、課題の具体的な解決について活発な議論が行われました。

今回は特に久松新社長の就任の抱負、環境変化が激しい時代に対応する経営基本方針などについて、時間を掛けてミーティングが実施されました。多岐にわたる活発な議論を通じて経営課題の認識を共有し、それぞれの職員が抱える悩みの解決にも役立つなど貴重なミーティングとなりました。



本社での社長ミーティング



関西支店大阪営業所  
所長 山本 恭久

社長ミーティングでは、『ブレーキとアクセル』について8項目のお話がありました。『ブレーキ』では、『赤字で会社は潰れないが、コンプライアンス違反は会社を潰す』この一言に尽きると感じました。社会情勢が急激に変化していく中、所属長のリーダーシップの下、所属員全員がルールは守る、『凡事徹底』が重要であると思います。

『アクセル』では、『意識改革』固定観念は排除し、目標を高く掲げ邁進する。不具合が発生した場合でも真の原因をつかみ反省し次に生かす。絶対に『言い訳』はしない。やるべきことは一生懸命に又徹底的に行う。労働環境改善は、所属員全員の更なる『意識改革』が重要であると思います。



北海道支店道央営業所  
所長 伊藤 俊

久松社長より「意識を変えよう」過去の踏襲ー現状維持は最大のリスク！高い目標を掲げ、達成すべき方策を考え、現状に逃げない努力が必要！労働環境改善はアクセル！所属長としての進むべき方向性を再確認できました。熱意をもって高い目標に向かい推し進めていこうと思います。